

(仮称)スマートシティ伊勢推進構想(案)に関する
パブリックコメントの実施結果報告について

1 パブリックコメントの実施結果及び対応について

(1) パブリックコメント実施の概要

① 意見募集の期間

令和5年12月1日(金)～令和6年1月4日(木)

② 意見提出の対象者

伊勢市に在住、通勤又は通学されている人など

③ 周知方法

- ・伊勢市公報
- ・伊勢市ホームページ
- ・広報いせ
- ・伊勢市公式LINE
- ・伊勢市行政チャンネル文字放送
- ・デジタルサイネージ「わがまちNAVI」

で周知するとともに、次項に掲げる場所に備え置き、縦覧に供した。

<計画(案)の縦覧場所(20箇所)>

- ・市役所(本館1階市民ホール、デジタル政策課、総務課)
- ・総合支所生活福祉課(二見、小俣、御園)
- ・支所(神社、大湊、浜郷、宮本、豊浜、北浜、城田、四郷、沼木)
- ・市立図書館(伊勢、小俣)
- ・生涯学習センター(いせトピア、二見)
- ・いせ市民活動センター

(2) 意見募集の結果(別表参照)

- ・意見数 持参1件(意見人数1人)

(3) 意見による計画案の修正

なし

2 今後のスケジュール

令和6年 2月 伊勢市議会(パブリックコメント結果報告)

令和6年 3月 策定・公表

(仮称) スマートシティ伊勢推進構想(案)の
パブリックコメントに対する市の考え方

No.	課題・分野	資料 頁	意見内容	市の考え方	修正の 有無
	I. 策定の背景・趣旨	4, 5	伊勢市で今後、デジタル技術を活用するとあります。それによって少ない人数でも行政事務が効率的にできるメリットがあるからということです。 しかしながら、最近のニュースで大手銀行が一斉に業務停止した事故がありました。	伊勢市では、行政のデジタル化を推進していますが、 V. 目指す姿・取組の方向性の(2)「②安全安心の確保」にも記載のとおり、デジタルに不安や苦手意識を抱える方でも使いやすいツールの導入などに取り組んでまいります。	無
	IV. 将来像・基本理念・基本原則	10	私のようにスーパーでセルフレジを一度もしていないデジタル弱者にとっては、デジタル行政は不安でなりません。私自身もパソコンは使用していますが、いつハッカーにやられないかと恐怖におののいています。なので、パソコンでの支払いではなく現金振り込みなどしかしていません。ところが、このスマートシティ構想では、キャッシュレス決済推進がうたわれています。	また、VI 将来像・基本理念・基本原則(3)「スマートシティ伊勢の基本5原則の原則③」に記載のとおり、サイバー攻撃やデータ流出などに対応した適切なセキュリティ対策を講じるなど、安心して生活を送っていただけるように努めてまいります。	
	V. 目指す姿・取組の方向性	12, 13	そして、私はマイナンバーカードの活用も暗証番号の記憶に自信がないので、カードは取得していません。 来年末の保険証廃止にも反対です。医療機関でシステム障害が発生した場合、大病院で		

	VII. 推進体制	21	<p>は専門家も常駐しているかとは思いますが、中小病院でどうなのか懸念します。現時点では不安の方が大です。</p> <p>個人情報・プライバシー保護も考慮しますとありますが、本人の同意なしに自衛隊員募集の際、適応年齢の氏名を自治体が開示した例もあります。</p> <p>最も懸念するのはサイバー攻撃などでデータ流出の危険性もないわけではありません。それに対し、アドバイザーもいるから安心ですとは言えないのではないかと危惧します。</p>		
--	-----------	----	--	--	--